

きかせてください！

もちの思い出 NO 20

お餅を食べるとほっとしますか。日本人共有のスローフードであるお餅は、食べる人の心まで温かくやわらかくしてくれる気がいたします。

日本のハレ食だったお餅も近年は食べる機会が少なくなつてまいりました。餅にまつわるいろいろなお話や思い出ありませんでしたらぜひお聞かせください。



□宮城県名取市 瀬成田様♥

幼い頃、年末になると私の母の実家新潟からお正月用のお餅が届くものでした。中にはのし餅と鏡餅がダンボールにぎつしり。子供ながらに「あ、もうすぐお正月なんだ」と胸がワクワクしたものです。そして、もうひとつの楽しみはのし餅の間にそつ

と隠されている祖母からのお年玉でした。今もお正月にお餅を食べると、幼い頃のあのお餅の味と祖母の心遣いが思い出されます。



□岩手県金ケ崎市 鈴木様◆

若いときは一升餅を食べたが、八十歳を越え、昔のように食べられない。少しだけけれど美味しくいただきました。



□東京都東村山市 瀬戸様♥

去年まで年末行事で臼と杵で餅つきをしていました。両親も歳をとり、しないことになりました。年末ぎりぎりまで仕事で、餅つきが難しくなったことも原因です。お餅・・・なつかしい気持ちになります。小さい頃はヨモギを摘みに行きました。火おこしや手水をとるのが得意でした。餅をあんこにくるむのが、最近の私の役でした。

□ 匿名様

おもちをたべるときは、のどにつまるかとすごくしんぱいです。



□東京都立川市 小林様♥

この店のお餅はどれも美味しかったです。でも、焼いたものや揚げたものなどいろんな調理法のお餅を食べたかったです。味噌汁がともおいしかったです。



□東京都荒川区 椎名様♥

戦後から今まで、毎年十二月三十日はお餅つきをします。使い古した杵、臼、のし板は大切にしています。搗いたお餅を親戚や友人に配り、正月二日、三日まで保存して食べています。



□岩手県盛岡市 作山様◆

昭和二十年代まだ子供だった頃、年末になると我が家では朝早く起きて五ないし六臼を父と母と兄の三人でついでおりました。

子供心に振り下ろす杵に、母の手がつかれるのではと心配しておりました。また、餅が大好きな私のために、母は帰省の度に、電気餅つき機でずんだ餅を作ってくれました。母の十三回忌で大崎市の帰りふと立ち寄つたふじせいさんと、心ゆくまでお餅を味あわせていただきました。またぜひ立ち寄らせていただきたいと思っています。



□福島県郡山市 小西様◆

二十数年前一関市を訪ねた折、食したいと思っておりましたが、店がわからず諦めて帰ったことがありました。この度訪問する機会がありました。この度訪問することができました。大変おいしくいただきました。川エビは初めて食しました。

